

越前町小中学校の再編(案)についての 説明会

越前町教育委員会

**越前町の学校教育環境に関する
提言書について
(学校の適正規模・適正配置)
【概要】**

越前町学校教育環境検討委員会

はじめに

○全国的に少子化傾向にある中、越前町においても今後、過度の小規模化が進むものと予測されております。

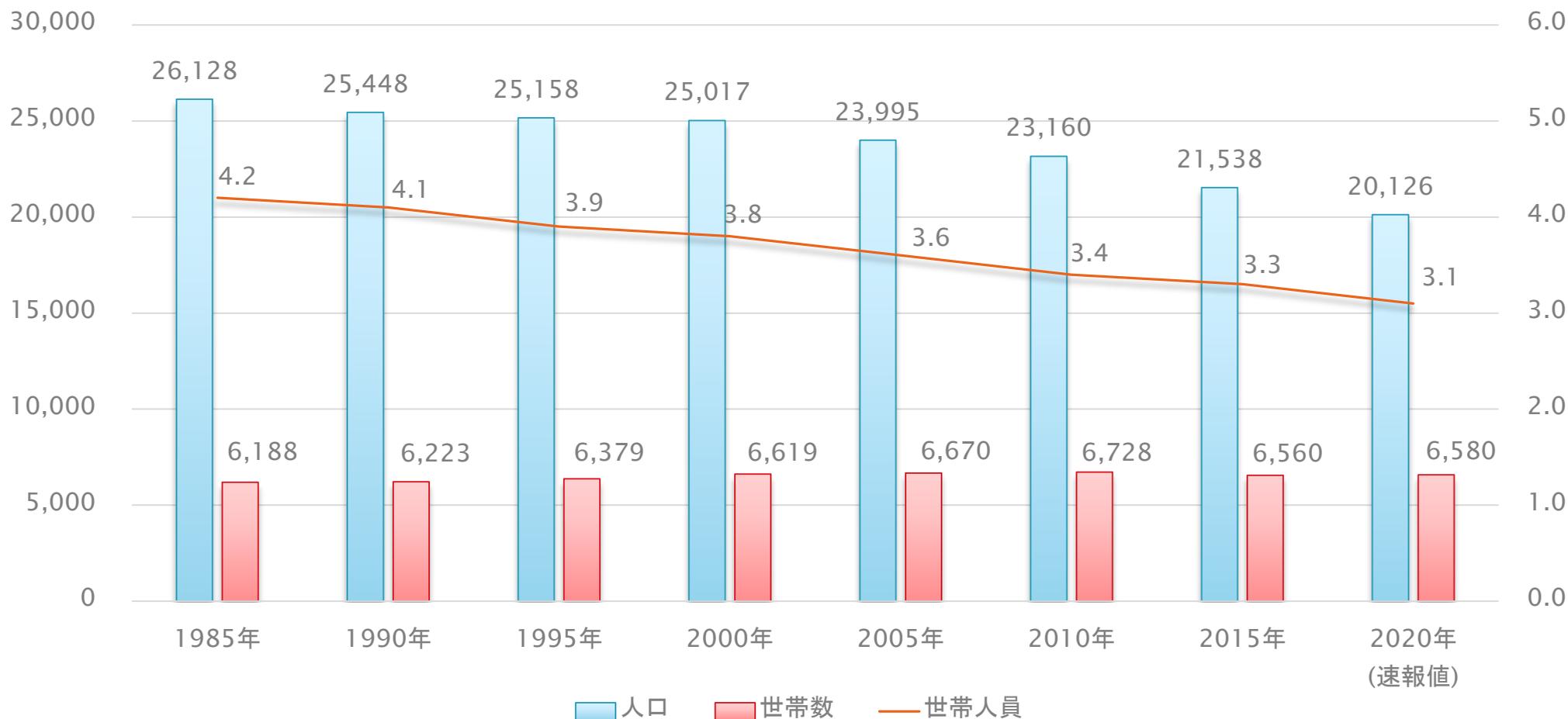
○平成30年8月に、学校教育環境の現況と今後の在り方について調査及び検証を行うことを目的に、越前町学校教育環境調査委員会が設置され、将来の学校教育に対する展望を協議していくため、アンケート調査を実施しました。

○令和元年10月に、学校の適正規模・適正配置等について検討するため、越前町学校教育環境検討委員会が組織され、計7回にわたり、全町的な視野に立って議論を重ねてきました。

○本町の学校の適正規模・適正配置の基準を定めるとともに、これに基づいて、今後の学校教育環境の適正化に係る基本方針並びに提言を取りまとめるに至りました。

1 本町の現状及び将来の見込みについて

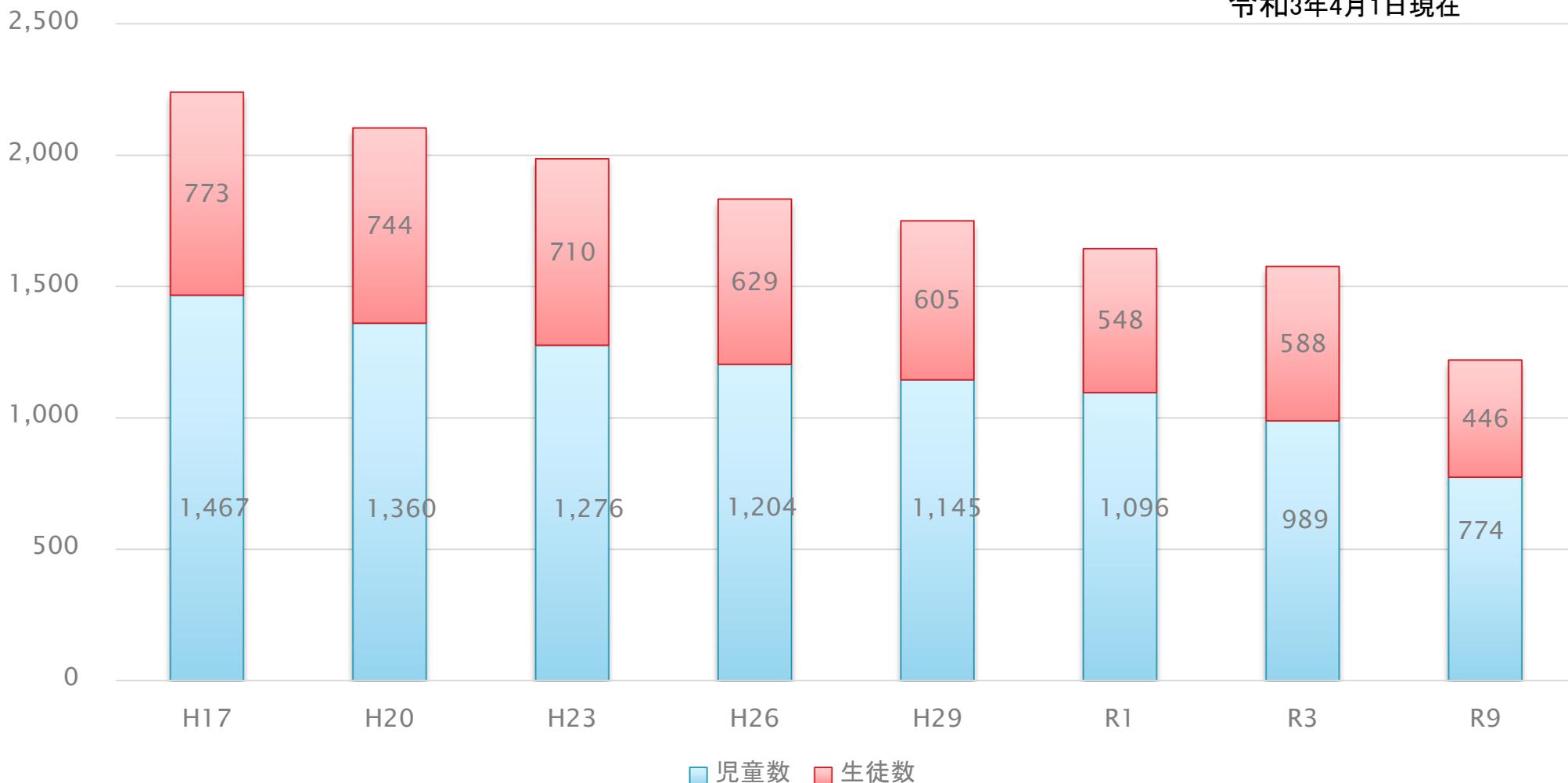
(1) 本町の人口の現状と推移



越前町の人口は、全国的な傾向よりも早い段階で人口減少が進んでいる状況です。
なお、令和2年国勢調査の速報値の人口は、20,126人となっております。

(2) 児童生徒数の現状と推移

令和3年4月1日現在



越前町の小中学校児童生徒数は、平成17年の合併当時と比べ約7割程度の児童生徒数となっております。今後もさらに児童生徒数は減少し、学校の小規模化が進むと見込まれます。

(3) 学校規模の現状と推移

国の基準に基づく町内小中学校別の学校規模の現状と推移

令和3年4月1日現在

【小学校】

学校名	年度	学校規模の推移						児童の推移	1学級あたりの児童数
		過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模		
				適正規模					
				1～5学級	6～11学級				
朝日小	R3			13				382	29.4
	R9			12				283	23.6
常磐小	R3	3						15	5
	R9	3						22	7.3
糸生小	R3		6					64	10.7
	R9	5						48	9.6
宮崎小	R3		8					196	24.5
	R9		6					143	23.8
四ヶ浦小	R3		6					74	12.3
	R9		6					76	12.7
城崎小	R3		6					73	12.2
	R9	5						49	9.8
織田小	R3		6					123	20.5
	R9		6					119	19.8
萩野小	R3		6					62	10.3
	R9	4						34	8.5

【中学校】

令和3年4月1日現在

学校名	年度	学校規模の推移						生徒の 推移	1学級 あたりの 生徒数
		過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模		
				適正規模					
		1～5学級	6～11学級	12～18学級	19～24学級	25～30学級	31学級以上		
朝日中	R3		11					292	26.5
	R9		9					223	24.8
宮崎中	R3	5						95	19
	R9	3						79	26.3
越前中	R3	3						89	29.7
	R9	3						62	20.7
織田中	R3		6					112	18.7
	R9	3						82	27.3

越前町の学校規模は、過小規模校や小規模校、適正規模校が混在し、同じ越前町でありながら子どもたちは教育環境が異なる状態に置かれています。また、将来的な児童生徒数が著しく減少する学校とそうでない学校とがあり、教育環境の違いがさらに拡大するおそれがあります。

2 子どもたちにとって望ましい学校の適正規模・適正配置

(1) 学校の規模に関わる課題

①調査委員会によるアンケート結果からみた課題

現在のクラス人数について

小学校	一般町民	適正規模校では「適正である」が50.9%、小規模以下の学校では「やや少ない」「少ない」「少なすぎる」が70.3%でした。
	保護者	適正規模校では「適正である」が54.2%、「やや多い」が25.2%、小規模以下の学校では「やや少ない」「少ない」「少なすぎる」が59.1%、「適正である」が26.3%でした。
	児童	適正規模校では「適正である」が69.7%、小規模以下の学校は「適正である」が47.6%、「やや少ない」「少ない」「少なすぎる」が45.2%でした。
中学校	一般町民	「やや少ない」「少ない」「少なすぎる」が48.3%、「適正である」が39.6%でした。
	保護者	「適正である」が49.0%、「やや少ない」「少ない」「少なすぎる」が30.1%でした。
	生徒	「適正である」が56.6%、「やや少ない」「少ない」「少なすぎる」が33.5%でした。

望ましいクラス人数について

小学校	保護者	「25人程度」が37.7%、「30人程度」が24.2%、「20人程度」が23.4%で、20人～30人程度で85.3%を占めています。
中学校	保護者	「25人程度」が38.6%、「30人程度」が29.1%、「20人程度」が21.2%で、20人～30人程度で88.9%を占めています。

適正な規模の小学校においては、全般的に現状のクラス人数を適正と考えているようですが、児童数の少ない小規模以下の小学校の一般町民・保護者は、現在の児童数が少ないと考えているようです。

中学校においては、小規模以下の学校であっても全体的に適正であると感じている方が多いと考えられます。

また、望ましいクラス人数として、保護者の方は、小学校・中学校ともに一定の集団規模が必要と考えていると思われます。

現在の学校の教育環境について

小学校	一般町民	<p>適正規模校においては「集団での生活や行動が経験できる」が26.2%、「クラス替え等があり、新たな人間関係を構築することができる」が14.0%で上位でした。</p> <p>小規模以下の学校においては「児童同士が親密な関係を築くことができる」が23.3%、「先生が目が見え、先生が一人ひとりに行き届く」が19.8%で上位でした。</p>
	保護者	<p>適正規模校においては「集団での生活や行動が経験できる」が26.4%、「クラス替え等があり、新たな人間関係を構築することができる」が21.0%で上位でした。</p> <p>小規模以下の学校においては「先生が目が見え、先生が一人ひとりに行き届く」が22.9%、「児童同士が親密な関係を築くことができる」が22.0%で上位でした。</p>
	児童	<p>適正規模校においては「クラス替え等があり、新たな人間関係を構築することができる」が23.2%、「集団での生活や行動が経験できる」が20.9%で上位でした。</p> <p>小規模以下の学校においては「児童同士が親密な関係を築くことができる」が20.8%、「いろいろな意見や考えに触れることができる」が17.6%で上位でした。</p>
中学校	一般町民	<p>「集団での生活や行動が経験できる」が17.9%、「先生が目が見え、先生が一人ひとりに行き届く」が15.8%で上位でした。</p>
	保護者	<p>「集団での生活や行動が経験できる」18.0%、「生徒同士が親密な関係を築くことができる」が16.8%で上位でした。</p>
	生徒	<p>「クラス替え等があり、新たな人間関係を構築することができる」が22.0%、「集団での生活や行動が経験できる」と「生徒同士が親密な関係を築くことができる」が19.4%で上位でした。</p>

重要だと思う学校の教育環境について

小学校	一般町民	<p>適正規模校においては「集団での生活や行動が経験できる」が24.4%、「先生が目が見え、一人ひとりに行き届くこと」が15.3%で上位でした。</p> <p>小規模以下の学校においては「先生が目が見え、一人ひとりに行き届く」が18.7%、「集団での生活や行動が経験できること」が18.2%で上位でした。</p>
	保護者	<p>適正規模校においては「集団での生活や行動が経験できる」が23.8%、「先生が目が見え、一人ひとりに行き届くこと」が17.2%で上位でした。</p> <p>小規模以下の学校においては「集団での生活や行動が経験できる」が20.3%、「先生が目が見え、一人ひとりに行き届く」が18.9%で上位でした。</p>
	児童	<p>適正規模校においては「いろいろな意見や考えに触れることができる」が19.6%、「集団での生活や行動が経験できる」が19.2%で上位でした。</p> <p>小規模以下の学校においては「いろいろな意見や考えに触れることができる」が19.7%、「児童同士が親密な関係を築くことができる」が16.8%で上位でした。</p>
中学校	一般町民	<p>「集団での生活や行動が経験できる」が18.1%、「多くの先生と触れ合い、多面的な評価・指導を受けることができること」が16.4%で上位でした。</p>
	保護者	<p>「集団での生活や行動が経験できる」が17.8%、「多くの先生と触れ合い、多面的な評価・指導を受けることができること」が17.7%で上位でした。</p>
	生徒	<p>「集団での生活や行動が経験できる」が19.2%、「生徒同士が親密な関係を築くことができる」が16.8%で上位でした。</p>

適正な規模の小学校においては、現状の教育環境について一定の満足を表していると思われます。

小規模以下の小学校では、「重要だと思う教育環境」では、「先生が目が見え一人ひとりに行き届く」のほかに、「集団での生活や行動が経験できる」も上位に選んでおり、現状の教育環境と必ずしも一致していないことがわかります。

中学校においては、現状の教育環境について一定の満足を表していると思われます。また、保護者・一般市民は「多くの先生と触れ合い、多面的な評価・指導を受けることができること」も上位に選んでいます。

小規模以下の小学校及び中学校の児童生徒は、「重要だと思う教育環境」として「児童同士が親密な関係を築くことができる」ことを上位に選んでいます。これは、クラス替えが困難な学校生活を過ごす中で、友人との関係性が非常に重要だと考えているためだと思われます。

以上のことから、一定数を確保した集団の中で、子どもたちが多様な考えに触れながら、個の資質・能力を伸ばすことのできる機会の確保と、教員が児童生徒一人ひとりに向き合い、きめ細やかな指導を行うことができる教育環境の整備が必要だと思われます。

②学校の小規模化に伴うメリット・デメリット

児童生徒への教育の視点から

項目	メリット(良いところ)	デメリット(課題があるところ)
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを表現する機会が多い ・自分の力を磨く機会が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で、多様な考え方に触れたり、学びあったりする機会が少ない ・集団での学習活動に必要な人数を満たせないことがある ・全ての教科の教科担任が配置されず、専門的知識・技能を持つ教員の授業を受けられないことがある
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の活躍できる機会が多い ・学年を超えた交流が生まれやすい ・先生やカウンセラーに相談しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えのない学年では、人間関係が固定化しがちであり、関係悪化の場合、逃げ場がなくなる ・集団の中で切磋琢磨する機会が少ない ・委員会活動や清掃など児童生徒一人の負担が大きい
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりの活躍の場が多くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人数を前にした表現活動をする機会が少ない ・体育大会など集団教育活動に学級対抗の要素などを取り入れることができず、盛り上がり欠ける
部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が選手、演奏者として大会等に出場する機会が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択できる部活動が少ない ・試合形式の練習ができないなど、活動が制限される ・部活動の大会に合同チームを組んで出場する必要が生じ、十分な練習時間の確保が困難

学校運営の視点から

項目	メリット(良いところ)	デメリット(課題があるところ)
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに目が届きやすい ・クラスの実態に応じて、学習の進度を調整できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・同学年、同教科担当がいないため、相談をしたり、教科の研究を深めにくい ・教員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置がしにくい
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の情報を全教職員が共有し指導しやすい ・緊急時に迅速に対応しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な児童生徒に対応するための幅広い視野・客観的な視野が不足しやすい ・人間関係が固定化・序列化され、問題が生じた場合に解決・解消が困難
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりに役割と活躍の場を持たせることができ、充実感を味わわせやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒のみの運営が難しく、教員や保護者が担う仕事が多くなりやすい
研修校務	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な校務を経験することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人に複数の校務分掌が集中し、出張の回数、事務処理の量が増え負担が大きい ・学校施設管理が困難(広い敷地、校舎のメンテナンス・清掃等)
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営への理解や協力が得やすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動における保護者の負担が大きくなりがちである

(2) 望ましい学校規模・学校配置の要件

①学校規模の面からみた望ましい教育環境

学校規模については、子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、次の点に考慮して検討することが望ましいと考えます。

○ 学校教育環境の向上

- ・ 表現力、判断力、問題解決力を育み、社会性や規範意識を身につけていくこと。
- ・ 多様な考えに触れながら資質、能力を伸ばしていくこと。
- ・ 学校行事やクラブ活動等、様々な活動ができること。
- ・ 中学校においては、免許外指導を解消し、全ての授業で教科担任による学習指導を行えること。

○ 適正規模の確保

- ・ 教育環境の充実、向上を図るためには、一定程度の児童生徒数が必要で、複式学級を解消することが重要な要件となる。

学校の小規模化に伴うメリット・デメリットから、教育環境面、指導体制面、学校運営面の視点で、次のような要件を満たす学校規模が望ましいと考えます。

○ 教育環境面

- ・ 人間関係が固定化されることのない規模であること。
- ・ 多様な価値観を持つ仲間と触れ合える規模であること。
- ・ 教員と児童生徒との関わりが十分保たれる規模であること。
- ・ 仲間同士で切磋琢磨でき、適度な競争意欲を持つことができる規模であること。

○ 指導体制面

- ・ 多様な学習・指導形態をとることができる規模であること。
- ・ 児童生徒一人ひとりの特性を把握できる規模であること。
- ・ 運動会、体育祭、学習発表会、文化祭など、ある程度の集団で活動できる規模であること。
- ・ 施設、設備を有効に活用できる規模であること。

○ 学校運営面

- ・ 教員が互いに指導方法等を相談・研究できる規模であること。
- ・ 教員が学校の教育目標や諸課題を常に共通理解できる規模であること。
- ・ 学年運営を効果的に進めることができる規模であること。

②学校の配置の面からみた望ましい教育環境

学校の配置については、児童生徒、保護者、地域住民など関係者の様々な思いや考えがあるということを踏まえ、次の点に考慮して検討することが望ましいと考えます。

○ 地域社会への配慮

- ・ 学校と地域社会との関わりを大切にする。
- ・ 地域コミュニティの拠点としての役割とともに、地域の活性化に配慮する。

○ 児童生徒数の詳細な把握

- ・ 現状だけでなく将来を見通した検討を行う。
- ・ 児童生徒にとって精神的、身体的に著しい負担にならないように配慮する。

○ 通学の安全性の確保

- ・ 児童生徒の通学状況を把握し、安全性が保たれるように配慮する。

(3) 本町の適正規模・適正配置の基準

①学校の適正規模の基準

国の基準では、小中学校ともに12学級から18学級となっているが、越前町の適正規模の基準は、以下のとおりとする。(但し、特別支援学級を含まない学級数)

[小中学校]

全学年でクラス替えが可能となる「1学年2学級以上」が望ましい。

②学校の適正配置の基準

越前町の適正配置の基準は、国が示す通学距離の基準（※小学校はおおむね4km以内、中学校はおおむね6km以内）が望ましい。ただし、河川、幹線道路等の地形・地物及び地域コミュニティと学校の関係や児童生徒の過度な負担等を考慮した弾力的な運用をするものとする。

[小学校]

児童の通学手段は徒歩を基本とし、遠距離通学の場合はスクールバスが望ましい。

[中学校]

生徒の通学手段は徒歩又は自転車を基本とし、遠距離通学の場合はスクールバスが望ましい。

3 学校教育環境の適正化に係る基本方針

(1) 適正規模の学校における「生きる力」の育成

学習指導要領では、従来から、子どもたちが自ら課題を見つけ、学び、考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力である「生きる力」を育むことが目標とされています。そして、令和3年度からの新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」を通して「何ができるようになるのか」という観点から、「知識及び 技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育てていくことを目指しています。

知識を得るための学習は少人数でも行うことができますが、多様な価値観を持つ仲間と触れ合い、切磋琢磨し、自分の考えを広げ深めていくためには、適正規模の学校での学びが必要です。

(2) 子どもたち一人ひとりの個性に適した指導の実施

子どもたちが未来社会を主体的に生き、社会参画する上で必要な資質、能力を育成していくためには、教員が業務の質を高める必要があります。教員自身が、日々の生活や教職人生を豊かにし、自らの専門性や人間性を高めることができる環境を構築することで、教育の質が高まると考えられます。

一定数の教員配置により校務分掌を軽減化し、教員が本来業務に専念できる時間を確保することで、子どもたちに対して効果的な教育活動を行い、子どもたち一人ひとりの個性に適した学習指導や生徒指導の展開が可能となります。

(3) 適正な学校配置と教員環境の充実

子どもたちが通う学校の配置については、児童生徒、保護者、地域住民など関係者の様々な思いや考えに配慮することが必要です。その上で、安全性の確保や通学にかかる精神的・身体的負担について十分検討された適正な配置であるべきであり、教員が専門性を活かしながら互いに指導方法等を相談し、研究を深めることができる教育環境の充実が重要だと考えます。

4 学校教育環境の適正化に向けた提言

(1) 特に対応を急ぐべき学校

現在複式学級であり、今後もその状態が続くと見込まれる過小規模の小学校については、保護者や地域住民等の十分な理解と協力を得ながら、早期に統廃合の検討を進めていく。

(2) 今後も引き続き検討すべき学校

将来複式学級になると見込まれる小規模の小学校や、現在全教科それぞれには専任教員を配置できない中学校については、保護者や地域住民等の十分な理解と協力を得ながら、通学区域や学校規模を考慮して、統廃合について検討していくことが望ましい。

(3) 全町的な視野に立った教育環境の検討

学校施設の物理的要件(空き教室の有無、施設の安全性や耐久性)や地理的配置、地域性などを考慮し、施設一体型の小中一貫校や義務教育学校への移行など、特色ある学校づくりについての検討や、大規模な災害やコロナ禍といった状況下であっても、情報通信機器などの活用により家庭学習を継続し、子どもたちの健やかな学びの保障に努める。

越前町小中学校再編基本方針(案)について

越前町教育委員会

はじめに

令和3年3月に越前町学校教育環境検討委員会から提出のあった提言書、越前町総合振興計画ならびに越前町教育の振興に関する大綱に基づき、地域の実情に即した学校規模・学校配置について、町の小中学校再編整備を推進していく方針を作成しました。

1 児童生徒数の推移と推計

令和3年4月1日における未就学児数・出生数に基づき、小学校については令和9年度までの児童数、中学校については令和15年度までの生徒数を推計すると、いずれも今後も減少が続くものと見込まれます。

【小学校】

令和3年4月1日現在

地区	学校名	建築年度	経過年数	平成17年度	令和元年度	令和3年度	令和6年度	令和9年度
				児童数	児童数	児童数	児童数	児童数
				学級数	学級数	学級数	学級数	学級数
朝日	朝日小	S57	39	472	429	382	334	283
				15	13	13	13	12
	常磐小	S49	47	52	15	15	17	22
				5	3	3	4	3
	糸生小	S61	35	128	68	64	62	48
				6	6	6	6	5
宮崎	宮崎小	H15	18	250	212	196	154	143
				9	9	8	6	6
越前	四ヶ浦小	S58	38	142	89	74	74	76
				6	6	6	6	6
	城崎小	H6	27	140	78	73	55	49
				6	6	6	6	5
織田	織田小	H6	27	216	136	123	114	119
				6	6	6	6	6
	萩野小	S55	41	67	69	62	49	34
				6	6	6	4	4
児童数合計				1,467	1,096	989	859	774

※常磐小は複式学級です。今後、糸生小・城崎小・萩野小においても複式学級となる可能性があります。

※学級数に特別支援学級は含みません。

【中学校】

令和3年4月1日現在

地区	学校名	建築年度	経過年数	平成17年度	令和元年度	令和3年度	令和6年度	令和9年度	令和15年度
				生徒数	生徒数	生徒数	生徒数	生徒数	生徒数
				学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数
朝日	朝日中	H21	12	263	279	292	238	223	163
				9	10	11	9	9	7
	糸生中			61					
				3					
宮崎	宮崎中	S55	41	115	87	95	117	79	68
				4	4	5	6	3	3
越前	越前中	S48	48	178	71	89	85	62	58
				6	4	3	3	3	3
織田	織田中	S57	39	156	111	112	103	82	72
				6	5	6	5	3	3
生徒数合計				773	548	588	543	446	361

※平成21年4月に朝日中学校と糸生中学校が統合しました。

※学級数に特別支援学級は含みません。

〔国の基準に基づく小中学校の学校規模の分類〕

学校規模	過小規模	小規模	適正規模	大規模	過大規模
学級数	1～5	6～11	12～18	19～30	31以上

- ・国が適正規模としている12学級～18学級の小学校は朝日小学校のみです。
- ・国が適正規模としている12学級～18学級の中学校はありません。

(参考) 県が定める学級編成基準(特別支援学級を除く)

小学校	・ 同学年の児童で編成する学級	・ 35人
	・ 2の学年の児童で編成する学級(複式学級)	・ 16人(1年生を含む学級は8人)
中学校	・ 同学年の生徒で編成する学級	・ 32人

2 町が目指す学校教育の姿

越前町教育基本方針「郷土愛にあふれ、思いやる心を大切にする人材の育成」を下に、次の指針に重点をおいて、町の教育を進めます。

①学校教育環境の充実

少子高齢化やグローバル化、技術革新が急速に進展し、激しく情勢が変化する社会において、持続可能な社会の創り手となる“越前っ子”を育てていくために、時代の変化に対応した学校教育環境の充実と特色ある教育活動を展開します。

②地域に根ざした教育の推進

豊かな自然と歴史ある伝統文化を活かした教育活動を展開し、郷土に対する愛情があふれ、創造性豊かな人材の育成を推進します。地域と家庭と学校が一体となって学び合うことができる環境を充実します。

3 再編に係る基本的な考え方

(1) 適正規模の基本となる考え方

①学校生活において、児童生徒同士、児童生徒と教職員が多様な人間関係を築きながら切磋琢磨し、様々な価値観や考え方を持った仲間と触れ合い、協調性・社会性を育む機会が確保できるよう、適切な学習集団の編成やクラス替えが可能となる学校規模であること。

②学校行事、部活動等において、児童生徒のニーズに応じた多様な選択肢を提供することができ、様々な経験や多くの教職員による指導が得られることで、活気が生まれる学校規模であること。

(2) 適正配置の基本となる考え方

適正配置に当たっては、地理的条件、地域性等を考慮しながら、小中学校全体の施設規模を勘案し、既存施設の活用（空き教室の有無、施設の安全性や耐久性を考慮する）を基本に検討するとともに、児童生徒が安全で安心な学校生活を送ることができる環境であること。

〔学校再編の優先順位〕

上記に基づき、以下の考え方で再編を進めます。

- ①現在、複式学級を保有する学校の再編（第1期）
- ②将来、複式学級を保有すると見込まれる学校の再編（第1期～2期）
- ③小学校再編の検証、中学校再編の検討・再編（第2期～3期）

4 学校再編の内容

【小学校】

小学校は、複式学級を解消します。また、将来的に複式学級になると見込まれる学校については、複式学級が見込まれる年、または複式学級に準じる年から概ね4年を目途に、段階的に再編します。

地区 (中学校)	学校名	再編の位置	再編の時期	再編の内容
朝日 (朝日中)	朝日小	朝日小	令和6年4月	朝日小と常磐小を再編。 再編校は現在の朝日小。 複式学級の解消を図るため最優先。
	常磐小 (複式)			
朝日 (朝日中)	糸生小	朝日小	令和11年4月	当面は現行を維持。 朝日中学校区の小学校3校の再編を視野に、優先して朝日小と常磐小を再編。 将来的に複式学級となる見込み。(R9複式見込) 児童数の推移と地域の理解を図りながら再編。 再編校は現在の朝日小。
宮崎 (宮崎中)	宮崎小	—	—	現行を維持。

【小学校】

地区 (中学校)	学校名	再編の位置	再編の時期	再編の内容
越前 (越前中)	四ヶ浦小	越前中 施設一体型	令和9年4月	<p>四ヶ浦小と城崎小を再編。 再編校は地理的な位置を考慮し現在の越前中。 小学校と中学校の施設一体型として再編。 城崎小は将来的に複式学級となる見込み。 (R9複式見込)</p> <p>小学校2校が再編しても全児童生徒が学習できる施設規模。 児童対象施設として改修期間が必要。</p>
	城崎小			
織田 (織田中)	織田小	織田小	令和8年4月	<p>織田小と萩野小を再編。 再編校は現在の織田小。 萩野小は将来的に複式学級となる見込み。 (R4複式見込)</p> <p>児童数の推移と地域の理解を図りながら再編。</p>
	萩野小			

【中学校】

中学校については、学校の小規模化に伴う教職員配置の減少により、多様な学習形態をとることや教職員同士の相互研鑽などが難しくなります。また、部活動は、教育課程外の活動ですが、心身ともに大きく成長する時期にスポーツや仲間との活動に親しむことは、健やかに成長するために必要な活動であり、その機会を等しく提供することが望まれます。

しかしながら、合併前旧4町村の歴史的な背景や、各地区地域のコミュニティの核として様々な機能を併せ持つこともあり、各地区1小学校1中学校を維持する観点から当面はそのまま存続します。

小学校再編に併せ中学校の再編を同時に行おうとすると、児童生徒や保護者の負担軽減が解消できない恐れがあるため、小学校再編後、将来的に生徒数が減少した場合の地域や保護者のニーズに応じて再編を検討します。

地区	学校名	再編の位置	再編の時期	再編の内容
朝日	朝日中	—	—	現行を維持。
宮崎	宮崎中	新中学校	検討	時期を定めず当面は維持。配置計画（枠組）のみ。小学校再編後、地理的状況や生徒数を勘案し、3中学校再編を検討。 新中学校の建設整備の検討が必要。 小学校再編を検証の上、検討が必要。
越前	越前中			
織田	織田中			

5 再編のスケジュール

【小学校】

地区名	学校名	再編の位置	第1期					第2期				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
朝日	朝日小	朝日小										
	常磐小		~複式学級~			再編						
	糸生小							複式学級~	複式学級~			
宮崎	宮崎小	現行維持										
越前	四ヶ浦小	越前中 (施設一体型)	地元説明会 基本方針策定									
	城崎小			複式学級~				施設整備	再編	複式学級~		
織田	織田小	織田小										
	萩野小							再編				

学校跡地利用検討

~複式学級~

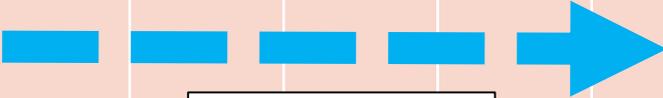
複式学級に準じる年

複式学級

複式学級が見込まれる年

【中学校】

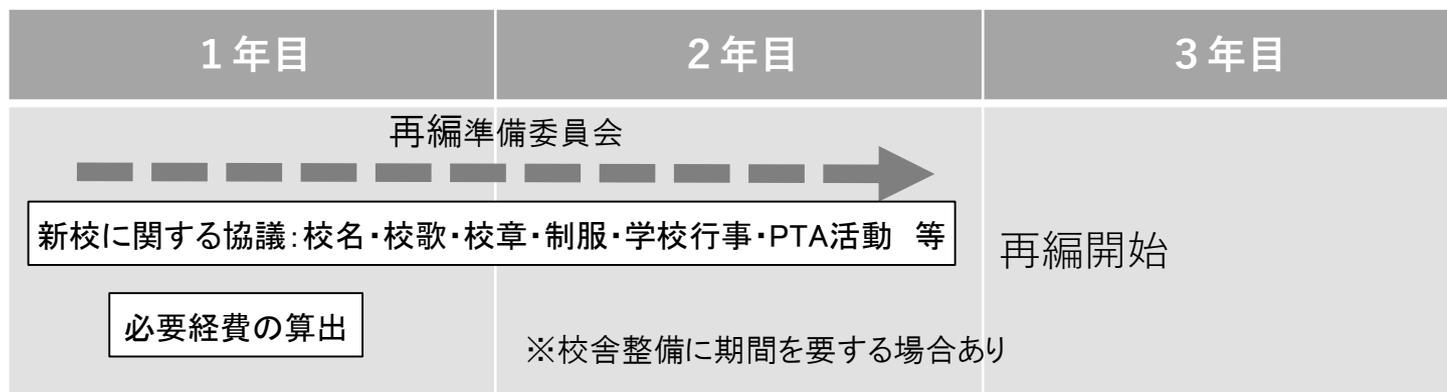
地区名	学校名	再編の位置	第1期					第2期					
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
朝日	朝日中	現行維持	地元説明会 基本方針策定										
宮崎	宮崎中	新中学校											
越前	越前中												
織田	織田中												



第2期中に検討

〔再編の標準的なスケジュール〕

※再編開始年度を基準とした場合

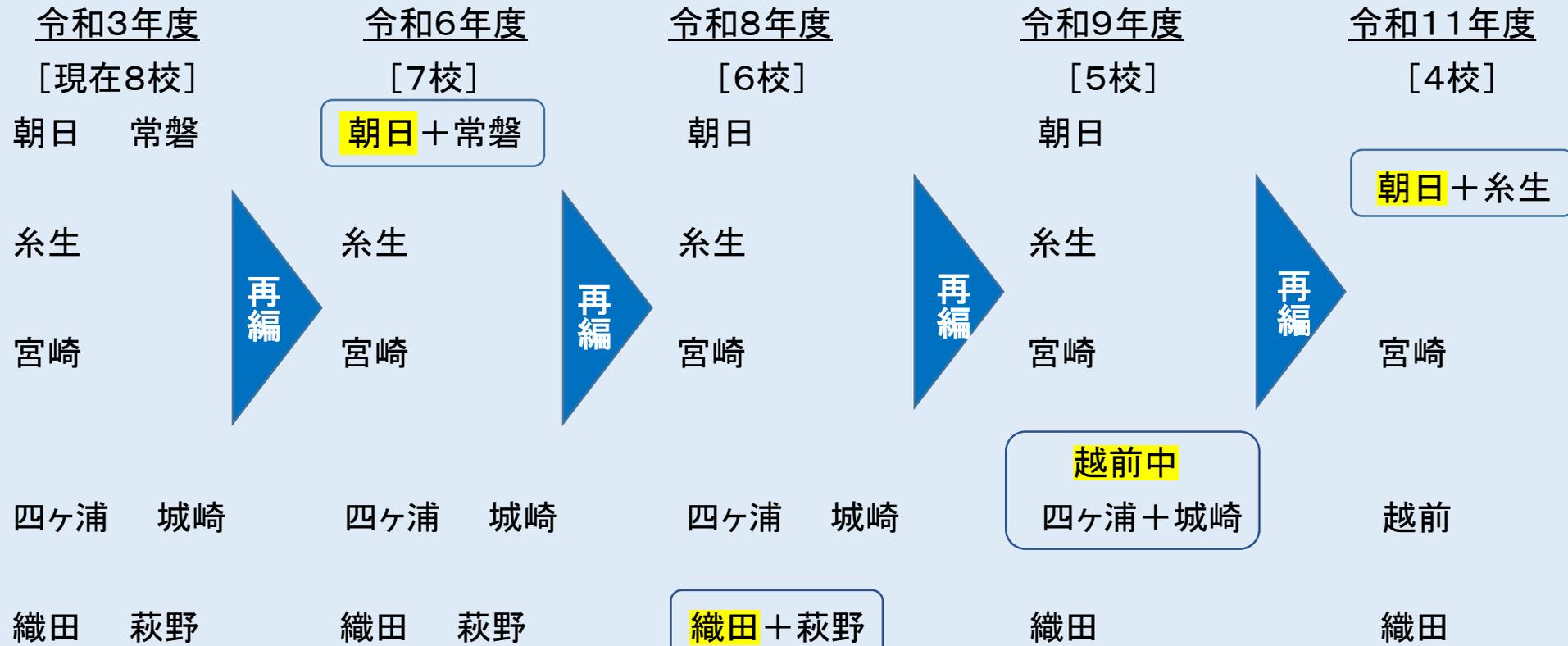


小中学校再編計画概要

小学校

第1期(R3~R7)

第2期(R8~R12)



※統合した学校は **黄色** の校舎を活用する

小中学校再編計画概要

中学校

第2期(R8~R12)

令和3年度

[現在4校]

朝 日

宮 崎

越 前

織 田

第2期中に検討

再編

第3期(R13~R18)

令和13年度以降

[2校]

朝 日

宮 崎

+

越 前

+

織 田

6 通学区域変更による影響

小学校児童の通学手段は徒歩を基本としますが、再編により通学距離やその他通学条件が、児童やその保護者にとって過重な負担とならないよう、地域の実情に応じて、スクールバスの運行により対応します。

また、通学路の安全・安心を確保するため、通学路の安全点検とその対策に努めます。

〔通学区域変更による通学距離の影響：令和3年4月現在〕

再編の位置となる学校	再編校	学校間の距離	最長通学距離
朝日小	常磐小	約3.3km	約4.6km
	糸生小	約5.9km	約10km
越前中	四ヶ浦小	約2.7km	約10.6km
	城崎小	約3.3km	約6.7km
織田小	萩野小	約3.6km	約4.2km

7 再編に係る取組み

項目	内容
地域の理解・連携	学校は地域コミュニティの核としての役割を担っており、その再編の在り方は、地域の住民にとって重要な課題です。再編を進めるうえでは、地域住民に対して、丁寧な説明を行い、十分な理解を得て進めることとします。
学習環境の変化への対応	再編により学習環境等が変化することで、児童生徒の不安や動揺をできる限り軽減できるよう、支援・相談体制の確立に努めます。
学校施設の整備	現在、計画的に学校の校舎や体育館の改修を行っておりますが、再編に伴う既存校舎について、必要に応じて整備を行います。
保護者の負担軽減	再編による学用品などの新調準備のための、保護者の経済的な負担軽減について配慮します。
次期再編の検討	この方針に定める段階的な再編毎に検証を行い、次期再編の検討を行います。その際、小学校再編の検証を踏まえ、中学校の4校体制の再編については、町全体を対象に検討する必要があります。

8 学校の跡地活用

学校再編に伴い発生する学校施設や敷地の利活用方法の検討に当たっては、その用途について地元等と十分に協議し、施設を有効に活用できるよう努めます。

また、行政部局の積極的な協力を求め、町全体の行政課題として取り組みます。

【 資 料 】

資料 1 人口の推移と推計

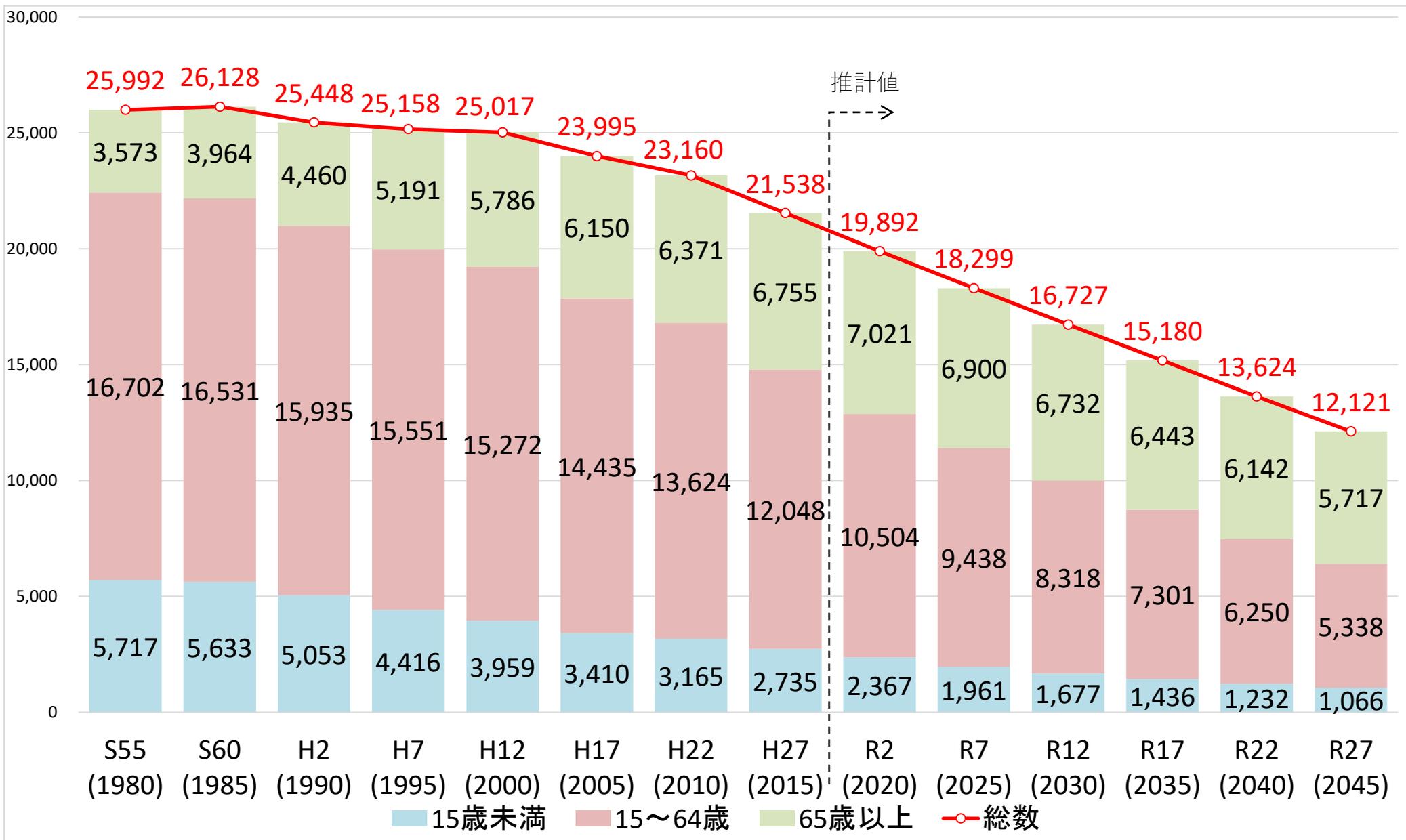
資料 2 児童生徒数の推移と推計

資料 3 小学校別 児童数の推移と推計

資料 4 中学校別 生徒数の推移と推計

資料 5 中学校の部活動の状況

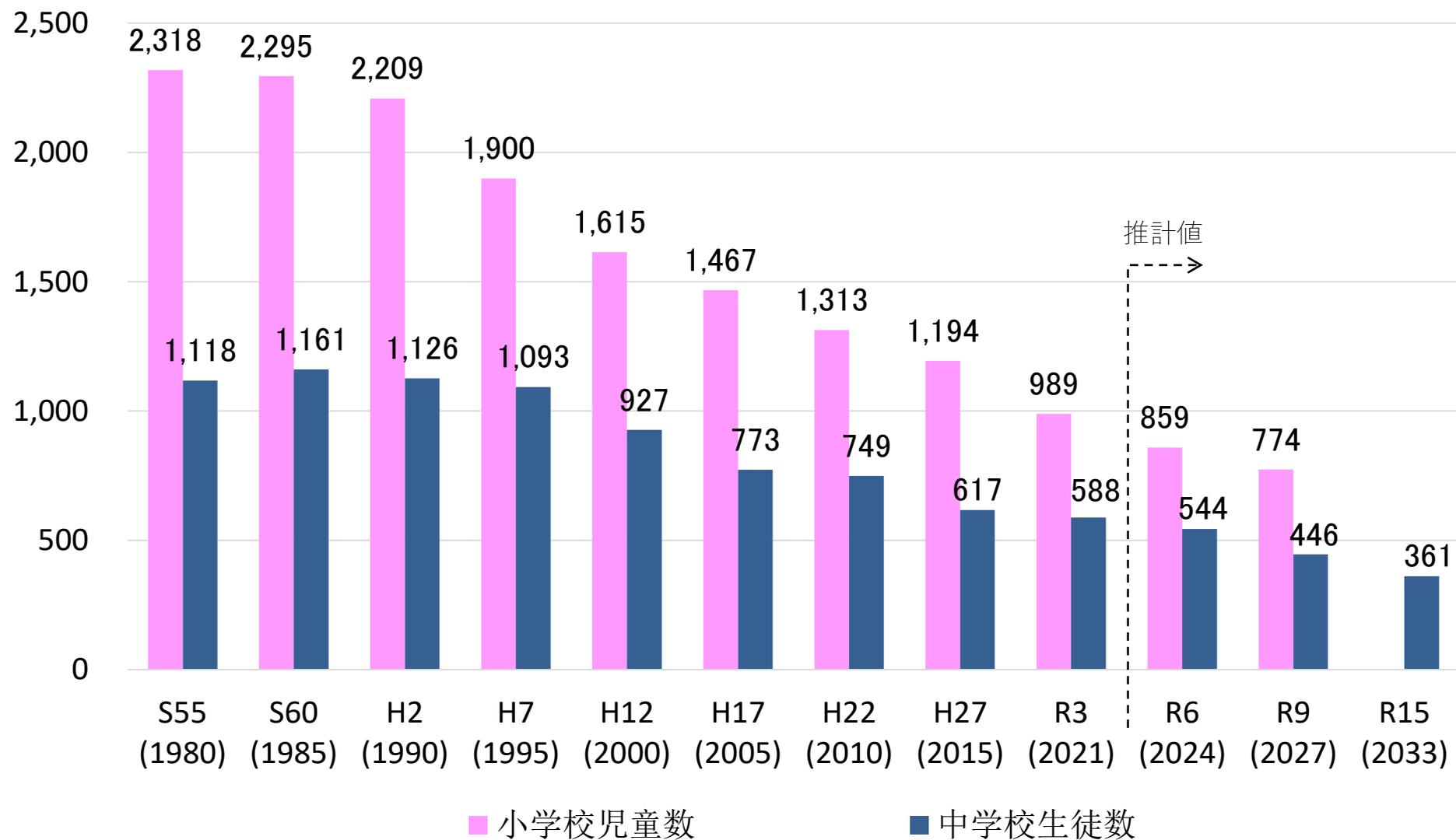
資料1 人口の推移と推計



(出典:国勢調査) ※R2(2020)以降は、国立社会保障・人口問題研究所による推計

資料2 児童生徒数の推移と推計

※小学校児童数についてはR9までの見込み



資料3 小学校別 児童数の推移と推計（令和3年4月1日現在）

※ 学級数に特別支援学級は含まれておりません

※ 児童数には特別支援学級の児童数も含まれます

〔朝日小学校〕

	平成17年度		令和元年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	74	2	73	2	55	2	51	2	45	2	54	2	49	2	43	2	41	2
2年	83	3	63	2	54	2	55	2	51	2	45	2	54	2	49	2	43	2
3年	74	2	66	2	75	3	54	2	55	2	51	2	45	2	54	2	49	2
4年	83	3	69	2	64	2	75	3	54	2	55	2	51	2	45	2	54	2
5年	85	3	88	3	65	2	64	2	75	3	54	2	55	2	51	2	45	2
6年	73	2	70	2	69	2	65	2	64	2	75	3	54	2	55	2	51	2
計	472	15	429	13	382	13	364	13	344	13	334	13	308	12	297	12	283	12

〔常磐小学校〕

	平成17年度		令和元年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	7	1	1	1	2	1	2	1	5	1	4	1	7	1	3	1	1	1
2年	9	1	2	1	3	1	2	1	2	1	5	1	4	1	7	1	3	1
3年	8	1	4	1	1	1	3	1	2	1	2	1	5	1	4	1	7	1
4年	7	1	1	1	2	1	1	1	3	1	2	1	2	1	5	1	4	1
5年	11	1	4	1	4	1	2	1	1	1	3	1	2	1	2	1	5	1
6年	10	1	3	1	3	1	4	1	2	1	1	1	3	1	2	1	2	1
計	52	5	15	3	15	3	14	3	15	3	17	4	23	4	23	4	22	3



複式学級

〔糸生小学校〕

	平成17年度		令和元年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	20	1	12	1	9	1	12	1	9	1	8	1	9	1	4	1	6	1
2年	19	1	11	1	12	1	9	1	12	1	9	1	8	1	9	1	4	1
3年	25	1	13	1	12	1	12	1	9	1	12	1	9	1	8	1	9	1
4年	26	1	6	1	12	1	12	1	12	1	9	1	12	1	9	1	8	1
5年	16	1	14	1	13	1	12	1	12	1	12	1	9	1	12	1	9	1
6年	22	1	12	1	6	1	13	1	12	1	12	1	12	1	9	1	12	1
計	128	6	68	6	64	6	70	6	66	6	62	6	59	6	51	6	48	5

〔宮崎小学校〕

 複式学級

	平成17年度		令和元年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	37	1	31	1	24	1	28	1	25	1	22	1	24	1	31	1	13	1
2年	37	1	35	1	26	1	24	1	28	1	25	1	22	1	24	1	31	1
3年	53	2	46	2	29	1	26	1	24	1	28	1	25	1	22	1	24	1
4年	35	1	37	2	34	1	29	1	26	1	24	1	28	1	25	1	22	1
5年	41	2	38	2	46	2	34	1	29	1	26	1	24	1	28	1	25	1
6年	47	2	25	1	37	2	46	2	34	1	29	1	26	1	24	1	28	1
計	250	9	212	9	196	8	187	7	166	6	154	6	149	6	154	6	143	6

〔四ヶ浦小学校〕

	平成17年度		令和元年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	20	1	12	1	16	1	10	1	16	1	13	1	18	1	11	1	8	1
2年	16	1	14	1	8	1	16	1	10	1	16	1	13	1	18	1	11	1
3年	27	1	14	1	11	1	8	1	16	1	10	1	16	1	13	1	18	1
4年	24	1	13	1	13	1	11	1	8	1	16	1	10	1	16	1	13	1
5年	30	1	16	1	13	1	13	1	11	1	8	1	16	1	10	1	16	1
6年	25	1	20	1	13	1	13	1	13	1	11	1	8	1	16	1	10	1
計	142	6	89	6	74	6	71	6	74	6	74	6	81	6	84	6	76	6

〔城崎小学校〕

	平成17年度		令和元年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	15	1	7	1	10	1	11	1	7	1	10	1	9	1	6	1	6	1
2年	25	1	17	1	9	1	10	1	11	1	7	1	10	1	9	1	6	1
3年	27	1	10	1	8	1	9	1	10	1	11	1	7	1	10	1	9	1
4年	21	1	17	1	19	1	8	1	9	1	10	1	11	1	7	1	10	1
5年	24	1	15	1	10	1	19	1	8	1	9	1	10	1	11	1	7	1
6年	28	1	12	1	17	1	10	1	19	1	8	1	9	1	10	1	11	1
計	140	6	78	6	73	6	67	6	64	6	55	6	56	6	53	6	49	5

〔織田小学校〕

	平成17年度		令和元年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	34	1	20	1	17	1	24	1	17	1	20	1	20	1	22	1	16	1
2年	39	1	19	1	21	1	17	1	24	1	17	1	20	1	20	1	22	1
3年	39	1	22	1	15	1	21	1	17	1	24	1	17	1	20	1	20	1
4年	38	1	25	1	23	1	15	1	21	1	17	1	24	1	17	1	20	1
5年	35	1	27	1	22	1	23	1	15	1	21	1	17	1	24	1	17	1
6年	31	1	23	1	25	1	22	1	23	1	15	1	21	1	17	1	24	1
計	216	6	136	6	123	6	122	6	117	6	114	6	119	6	120	6	119	6

〔萩野小学校〕

	平成17年度		令和元年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	8	1	13	1	8	1	7	1	8	1	5	1	3	1	6	1	5	1
2年	11	1	11	1	8	1	8	1	7	1	8	1	5	1	3	1	6	1
3年	12	1	10	1	13	1	8	1	8	1	7	1	8	1	5	1	3	1
4年	14	1	12	1	11	1	13	1	8	1	8	1	7	1	8	1	5	1
5年	5	1	9	1	10	1	11	1	13	1	8	1	8	1	7	1	8	1
6年	17	1	14	1	12	1	10	1	11	1	13	1	8	1	8	1	7	1
計	67	6	69	6	62	6	57	5	55	5	49	4	39	3	37	4	34	4

資料4 中学校別 生徒数の推移と推計（令和3年4月1日現在）

※ 学級数に特別支援学級は含まれておりません

※ 生徒数には特別支援学級の生徒数も含まれます

〔朝日中学校〕

	平成17年度		令和元年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和15年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	80	3	103	4	105	4	78	3	82	3	78	3	88	3	69	3	66	3	48	2
2年	92	3	88	3	85	3	105	4	78	3	82	3	78	3	88	3	69	3	50	2
3年	91	3	88	3	102	4	85	3	105	4	78	3	82	3	78	3	88	3	65	3
計	263	9	279	10	292	11	268	10	265	10	238	9	248	9	235	9	223	9	163	7

※平成21年4月に朝日中学校と糸生中学校が統合しました。

〔宮崎中学校〕

	平成17年度		令和元年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和15年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	32	1	34	2	37	2	37	2	46	2	34	2	29	1	26	1	24	1	13	1
2年	47	2	29	1	25	1	37	2	37	2	46	2	34	2	29	1	26	1	31	1
3年	36	1	24	1	33	2	25	1	37	2	37	2	46	2	34	2	29	1	24	1
計	115	4	87	4	95	5	99	5	120	6	117	6	109	5	89	4	79	3	68	3

〔越前中学校〕

	平成17年度		令和元年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和15年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	56	2	33	2	31	1	30	1	23	1	32	1	19	1	17	1	26	1	14	1
2年	60	2	16	1	27	1	31	1	30	1	23	1	32	1	19	1	17	1	17	1
3年	62	2	22	1	31	1	27	1	31	1	30	1	23	1	32	1	19	1	27	1
計	178	6	71	4	89	3	88	3	84	3	85	3	74	3	68	3	62	3	58	3

〔織田中学校〕

	平成17年度		令和元年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和15年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	50	2	42	2	36	2	37	2	32	1	34	2	28	1	29	1	25	1	21	1
2年	45	2	37	2	36	2	36	2	37	2	32	1	34	2	28	1	29	1	28	1
3年	61	2	32	1	40	2	36	2	36	2	37	2	32	1	34	2	28	1	23	1
計	156	6	111	5	112	6	109	6	105	5	103	5	94	4	91	4	82	3	72	3

資料5 中学校の部活動の状況（令和3年4月1日現在）

○常設の部活動名と所属人数（郊外部、クラブチーム等に所属している者は除く）

部活動名			在籍人数											
			1年			2年			3年			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
朝日中	運動部	野球部	4	0	4	6	0	6	3	0	3	13	0	13
		ホッケー部	11	8	19	8	9	17	9	6	15	28	23	51
		卓球部	10	8	18	2	1	3	4	9	13	16	18	34
		バレーボール部	6	11	17	2	9	11	8	10	18	16	30	46
		ソフトテニス部	13	4	17	7	8	15	12	10	22	32	22	54
	剣道部	3	4	7	2	3	5	3	0	3	8	7	15	
	文化部	吹奏楽部	3	8	11	0	16	16	4	15	19	7	39	46
		美術部	4	3	7	1	2	3	4	1	5	9	6	15
合 計			54	46	100	28	48	76	47	51	98	129	145	274
宮崎中	運動部	野球部	7	0	7	4	0	4	8	0	8	19	0	19
		卓球部（女子）	0	8	8	0	0	0	0	8	8	0	16	16
		バレーボール部	7	8	15	1	2	3	2	6	8	10	16	26
	文化部	吹奏楽部	0	7	7	0	7	7	1	2	3	1	16	17
		陶芸部	0	0	0	2	4	6	6	0	6	8	4	12
		宮崎物語部 ※	0	(5)	(5)	0	0	0	0	(2)	(2)	0	(7)	(7)
合 計			14	23	37	7	13	20	17	16	33	38	52	90

※宮崎中学校の、宮崎物語部員は他の部活動と兼ねているため合計人数には含みません。

部活動名			在籍人数											
			1年			2年			3年			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
越前中	運動部	野球部	3	0	3	5	0	5	4	0	4	12	0	12
		卓球部（女子）	0	4	4	0	3	3	0	5	5	0	12	12
		バレーボール部	4	3	7	7	3	10	7	6	13	18	12	30
	文化部	吹奏楽部	0	8	8	1	6	7	3	4	7	4	18	22
	合 計		7	15	22	13	12	25	14	15	29	34	42	76
織田中	運動部	野球部	4	0	4	4	1	5	6	0	6	14	1	15
		ホッケー部	7	3	10	5	3	8	3	7	10	15	13	28
		卓球部（女子）	0	8	8	0	7	7	0	2	2	0	17	17
		バレーボール部	3	3	6	5	3	8	8	5	13	16	11	27
	文化部	吹奏楽部	1	4	5	0	7	7	2	3	5	3	14	17
	合 計		15	18	33	14	21	35	19	17	36	48	56	104